

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス サンライズ医大前		
○保護者評価実施期間	令和8年1月13日		～ 令和8年1月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	33	(回答者数) 27
○従業者評価実施期間	令和8年2月2日		～ 令和8年2月6日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもたちの通所満足度は高い。	活動以外にも自由時間など、子どもたちとの遊びの中で、遊びながら一人一人の課題を意識して関わりをとるようにしている。 また、個別に話をする必要がある子には時間を作れるようにしている。	「サンライズに来ることが楽しい」と思ってもらえることを大前提としながら、一日一日を有意義なものにできるように「今日はこれができた」「今度も挑戦したい」という気持ちを高めていけるような関わりを取っていく。
2	日頃から活動に対して、子どもたちのメンバーに応じた支援を考えて実践することができている。	日々の活動の中で、子どもたちにとっての課題は何かを明確にしながら、マンネリ化しないような工夫を行っている。 メンバーバランスを踏まえて、内容を精査し2週間前には計画を出すようにしている。	集団での支援を行っていきながら、個別のニーズの高まりも踏まえて、「この子だったら…」あるいは「こうなったときは…」と多角的に活動を設定し、今まで以上に子どもたちの想定される行動を検討し職員全体で対応力の強化を図っていく。
3	日頃から送迎やLINEでの連絡を通じて、保護者の方とのやり取りを密接に行っている。	サンライズの活動に参加した日のLINEでの活動報告や送迎時のやり取りで日々、日ごろの情報共有に加えて悩み事などを聞けるようにしている。	今まで行っていることは継続して行っていく中で、保護者の方々向けの茶話会の設定を行い、そこに職員も同席することで気軽に相談できる場を設定していく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母会など、利用されている保護者の方に向けた場の設定が出来ていない。	就労事業所の見学など前年度は行っていたものが、今年度は実施することが出来ていない。 茶話会のような場も設定はできていないのが現状。	父母会、見学会の場を設定し、参加の呼びかけを行う。その対象を利用していただいている保護者に加えて、サンライズに興味を持っていただいている方にも広げて、保護者同士の交流会の場を設定できるようにしていく。 ジョブリンクの見学など、これから就労につながりうる方々にはその見学も含めていく。
2	避難訓練などは行っているのだが、保護者の方々に対して防災マニュアルなどの周知徹底ができていない。	避難訓練を行っているが、そこに参加した子どもたちの保護者へのみの連絡になってしまっている。 またマニュアルの存在は事業所への掲示のみなので、存在を知らないままになっているのは間違いない。	年度初めに防災マニュアルや避難訓練についての周知を図る。それを書面で行うのか、LINEで行うのかを検討していきたい。 実施した際にも改めて、反省点などを踏まえて再度周知するのかなど検討していきたい。
3	個別に応じた支援の必要性を感じつつも、今以上のアプローチを行うことが出来ていない。	新規の受け入れも増えてきて、それぞれの子どもたちへの個別ニーズが高まっているのだが、そうした子たちへの新たな動きを検討するに留まり、実施にまで至っていない。	個別支援計画に今まで以上に深い内容を盛り込んでいき、個別の働きかけの必要性を職員間で理解を深めていく。 集団活動の中に、個別での動きも盛り込んでおくことで、何かあったときに臨機応変に対応出来るようにしていく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービス サンライズ医大前

公表日 _____

利用児童数 33

回収数 27

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	25	2			・安全性に配慮されている。 ・ももとのスペースが狭いのでやむを得ないですが、いろいろと工夫されていると感じます。 ・体育館も利用している。	ワンフロアで限られたスペースではあるのですが、限界もあるのが正直なところですので。 机の配置など工夫を行いながら、活動や自由時間で子どもたちに満足した時間を過ごしてもらえようとしています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	26			1	・基準に見なしている。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	22	2		3	・1度くらいしか訪問していないので、わからない。 ・トイレが気になります。スペースが限られているので、仕方ないとは思いますが、思春期の子どもたちが利用する上で、男女別ではない事、また水を流す音が外まで聞こえるのは気になる方がいらっしゃるのではないかと。	トイレの数、二階にあるために、バリアフリー的な観点からはどうしても限界があります。 トイレ混雑時や手洗いの場所など、全体に配慮できるように職員が対応していきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	26	1			・臨機応変に対応していると思う。	
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	26	1			・子どもの特性を深く理解しそれに合わせた多角的な支援をしている。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	27					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	27					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	27					
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	27					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	27				・子どもたちが楽しく過ごせるようにいろいろ工夫している。 ・いろいろと経験させていただき、有難く思います。	
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	7	3	1	16		現状、地域の子どもたちとの関わりを取ることはできていないのが現状です。 サンライズとしてできることを模索していきます。
保 護	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	27					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	27					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	13	3	3	8		勉強会などの機会を作っていないことは間違いないところです。 今回のアンケート結果を踏まえて、できることを検討し、近く実施できるようにしていきます。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	27				・活動報告をLINEで受けたり困ったことがあれば連絡している。	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	27					

者 へ の 説 明 等	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	27				・いつも親身に対応してくれている。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	3	6	14		14同様、今回のアンケート結果を踏まえてほほ会などの設定を行えるように企画していきます。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	24	1		2	・いつも迅速に対応してもらって助かっている。	さまざまな意見をいただくことはありません。その都度、我々に何が出来るのかを検討し、よりよい形に向かっていけるようにさせていただきます。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	27					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	26			1	・利用日のLINEはとても分かりやすくいつも微笑ましく拝見しています。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	26			1		担当者会議など情報共有の必要がある場面のみに外部での情報発信を行っています。
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	22	2		3	・活動の中で訓練を体験し分かりやすく説明していると思う。 ・避難訓練は行われていた。	非常時のマニュアルはあるのですが、周知徹底という点では、完備ではないことが分かりました。 避難訓練などは、参加したご家庭への伝達ばかりだったので、行われた際に利用の有無関係なしに発信していくようにしていきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	22	1		4		同上
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	27					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	25			2		車での事故や活動時のケガなど、有事の際には、しかるべき対応を取らせていただいています。 またその際に、時系列に沿った説明を行っています。
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	27				・行きたくないと言ったことがない。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	25	1		1		子どもたちの気持ちの変化を見定めながら、毎日楽しく通所していただけるように日々心掛けていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	27				・とても ・今後ともよろしく願っています。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
放課後等デイサービス サンライズ医大前						
	チェック項目	はい		工夫している点	課題や改善すべき点	
		はい	いいえ			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1	利用してくださっている子どもたちの体も大きく、十分なスペースとは言えない。机の配置など様々な工夫を行っている。	就労Bとの多機能事業所になったことを踏まえて、空間の使い方は今一度検討していく必要がある。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	2	死角はないが、落ち着けるスペースがなく、トイレも手すりなど何もない。また2階にあるために、バリアフリーの観点ではよくない。	エレベーターはあるものの、有事の際のことを考えて車いすの子の対応をお断りしている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	1		個室が必要な子など、落ち着くためのスペースは不足している。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	2		今後、相談室の使い方が課題として考えられる。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	6		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6			
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	1		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	1		大きな方向性は示しているが、さらに深い部分までを日々の活動に盛り込んでいく必要がある。そのためにも、今まで通りではない形での、計画書の共有を測っていく必要がある。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1		標準化されたツールは用いられていない。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6			

提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	1		集団活動と個別活動のバランスを考えた支援の方向性を検討しているところ。 空間の使い方に合わせて、いい形を検討模索していく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	1		記録は早く終わらせようとしている。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	6			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	1		活動の中で、子どもたちが選べる選択肢が少ない。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1		数人、医療機関との連携は行ったが、まだ少ない。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	2		5年生から対象故に、該当者がいない。それまでに使っていた事業所との連携は測っている。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	3	研修に参加できるようにしているが、毎回誰かを行けるようにしているわけではない。	参加が出来るかどうかにとらわれず、職員間での共有を行えるようにしていく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	4	避難訓練などで、近隣の小学校との連絡は行っているが、関わりを作ることはできていない。	現状、そうした場を作ることはできていない。 サービス提供時間の中で、そうした場に向くのも難しいのが現状。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	1		参加者が管理者に偏っていた。 内容にかかわらず、参加できる職員を増やして勉強の場として、うまく活用できるようにしていきたい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	3		今年度、就労事業所の見学会などの機会を作ることが出来ていない。 保護者の方々へのアンケートでもそこが弱いことが判明したため、年間スケジュールに組み込んでの改善につなげていきたい。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	4		35と同様。 父母会の設定を行い、参加できるご家庭から繋がりの強化を図っていきたい。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	4		定期的なイベントの実施は行っていない。今後、宇部市内小中学校との連携の機会が作られそうなので、参加が出来る範囲で参加していきたい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	1		訓練は行っているが、マニュアルの周知徹底ができていないか不明。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1		保護者からの聞き取りが主。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	1		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	1		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	1			